

中国システム建築協力会開く

新会長に西村氏(長沢建設社長)

JFEシビル

【岡山】JFEシビルは19日、岡山市のホ

テルでJFE中国システム建築協力会の2017年度総会を開催、流通や協力施工店など約30人が出席した。今期は役員改選期に当たり、新会長に西村創之介・長沢建設社長、副会長に江田宏・荒木組取締役営業部長が選任された。

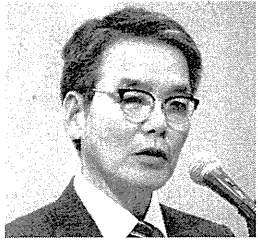
席上、同会の片岡精一会長(片岡工業社長)は「建設業界では人手不足の影響が強く、仕事はあるが受注できないというケースも出ている。現場施工の省力化につながるシステム建築はこうした状況で

あいさつする西村新会長



大きな力になる。会員の皆さまにはこの武器をうまく使って発展を目指してほしい」と述べた。

JFEシビルの森田昌敏・常務取締役は、当社の16年度実績は売上高、経常利益とも全社目標を達成する見通しだ。システム建築事業部については16年度の目標値が売上高200億円、経常利益が10億円だった。売り上げはわずかにショートしそのだが、経常利益では超過達成見込みとなっている。会員の皆さまのご協力に感謝を申し上げたい」と業績見通しを説明した。



森田常務取締役

続いて、4月に同システム建築事業部西

部営業本部長に就いた佐々木薫氏が「これまで現場所長やシステムの建設部長などを担当し、技術畑が長かった。今までは皆さまから仕事をいただいていたが、これからは皆さまとともに仕事を取りに行く。引き続き、ご支援をお願いしたい」とあいさつした。

同事業部の上西正宏生産管理部長からは17年度の事業方針としてJFEシビル全社で売上1000億円達成を目指すことや営業面・施工面で施工店との協業を推進しシステム建築の採用拡大を図ること、新地区案件でのデバイス販売に注力することなどが説明された。

その後、協力で推進する会員各社がシステム建築の受注を目指す「1社1棟&1件受注活動」の16年度中国地区表彰が行われ、梶岡建設、サカマ健工、美保テクノス、荒木組、片岡工業、境谷工業、コンステック、長沢建設、三友、協同組合島根県鐵工会の10社に、西村新会長から表彰状が手渡された。